

授業でLGBTQ解説

豊橋・豊城中 中日教育賞の城所養護教諭

多様な性のあり方を知ってもらうと、二〇二三年の中日教育賞を受けた豊橋市豊城中養護教諭の城所美和さん(右)が二十八日、同校で授業し、三年生百一人が聞き入った。

城所さんは市の保健師として勤務後、養護教諭になった。初めて勤務した中学校で、制服のスカートをはけずに体操着で登校する女子生徒がいたことをきっかけに、性自認などを考えるようになった。

二二年度から愛知教育大教職大学院に入学し、性的少数者(LGBTQ)に関する教育のほか、教員向けの教材作成や研修にも取り

組む。これらの実績が評価され、中日教育賞のほか、県優秀教員として表彰されたこともある。

城所さんはLGBTQについて「全人口の割ほどいるとされるが、ほとんどがカミングアウトしていない。絶対に探さず、もしカミングアウトされた場合は話を聞いてあげて話した。授業を聞いた鈴木純さん(右)は「今までLGBTQのことを全く考えてこなかった。これからは個人の気持ちを上より尊重し、生きていきたい」と話した。

(斎藤徹)



城所教諭の授業を聞く生徒ら＝豊橋市豊城中で